

# コロム布斯

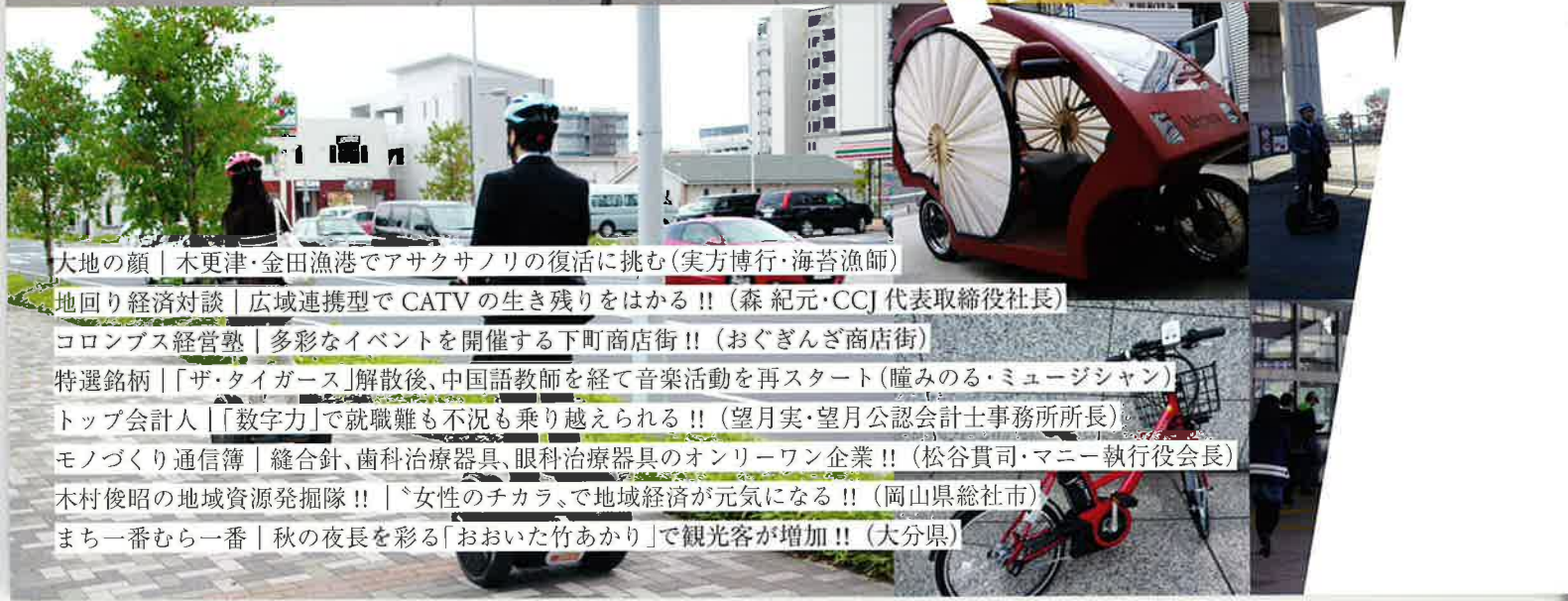
MONTHLY COLUMBUS

ビジネスの新大陸を発見!!

2011  
NOV.  
680円



エコで快適な「通勤スタイル」が誕生  
地域と経済が  
変わるに  
通勤で



大地の顔 | 木更津・金田漁港でアサクサノリの復活に挑む(実方博行・海苔漁師)

地回り経済対談 | 広域連携型でCATVの生き残りをはかる!! (森 紀元・CCJ 代表取締役社長)

コロム布斯経営塾 | 多彩なイベントを開催する下町商店街!! (おぐざんざ商店街)

特選銘柄 | 「ザ・タイガース」解散後、中国語教師を経て音楽活動を再スタート(瞳みのる・ミュージシャン)

トップ会計人 | 「数字力」で就職難も不況も乗り越えられる!! (望月実・望月公認会計士事務所所長)

モノづくり通信簿 | 縫合針、歯科治療器具、眼科治療器具のオンリーワン企業!! (松谷貫司・マニー執行役会長)

木村俊昭の地域資源発掘隊!! | ♀女性のチカラ、で地域経済が元気になる!! (岡山県総社市)

まち一番むら一番 | 秋の夜長を彩る「おおいた竹あかり」で観光客が増加!! (大分県)

# コンプ 読書の時間



地域活性化プロデューサー  
(株)CCJ常務取締役  
**今泉道雄**  
(いまいずみ・みちお)

1980年3月東北大学経済学部卒業。日本政策投資銀行青森事務所長、地域総合整備財団開発部長・振興部長等を経て、09年6月(株)CCJ常務取締役。全国各地で地域の振興・開発に携わる

## 今月の「地域本」

### 経営戦略の教科書 経営環境の変化に合わせた 柔軟な経営戦略を学ぶ!!

業であれば、規模の大小を問わず、かならずや「こういうことをやりたい」「こうした会社をつくりたい」といった「目指すべき将来像」や「ビジョン」があるはずである。しかし、具体性に欠けた「思い」だけでは、企業の経営的な成功は覚束ない。「ビジョン」という曖昧なものを「経営戦略」という具体的な実行ベースに落とし込み、それらもとづいて株主や顧客に対しての価値を創造していくことこそが、企業活動の本質といえるべきであろう。

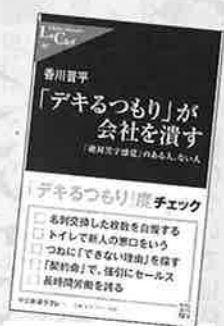
本書は、早稲田大学ビジネススクールにおける「経営戦略」の講義録である。だが、この手の本にありがちな「理論」や「フレームワーク(分析ツール)」中心の「経営戦略論」はない。あくまでも実践に役立ち、成功につながる「経営戦略」を生きた実例から説き起こし、わかりやすく学んでもらうことを意図して編集されている。

本書を通して、著者は「経営戦略とはダイナミックな『生き物』である」と述べている。つまり、経営環境が刻々と変化するなかにあつて、フレームワークを使い、ある種の「理論」に当てはめれば「かならずうまくいく」と



著者：遠藤功  
発行：光文社  
定価：798円(税込)

## 「できるつもり」度をチェックして、真の「できる社員」を目指す!!



著者：香川晋平  
発行：中央公論新社  
定価：780円+税

会社にとって利益をもたらす「黒字社員」、そして会社に不利益をもたらす「赤字社員」。著者の香川氏は前者「東大卒でも赤字社員 中卒でも黒字社員」で、黒字社員と赤字社員の見分け方を解説したが、今回は「赤字社員」をさらに細分化し、「できるつもり」の社員の危険性を指摘している。

「できるつもり」の自称・黒字社員にはどんな特徴があるのか。その一部を紹介すると、名刺の数自慢、詐欺的セールス、新人のあら探し、長時間労働が誇りといったことがあげられる。また「できるつもり」の社員は、会社にとって貴重な4つの資産、「ヒト」「モノ」「カネ」「時間」をムダにしてしまう傾向もあると指摘する。

読者のなかには「タイトルにあるように『できるつもり』の社員が会社を潰す」というのはさすがにいいすぎなのではないかと思えるかもしれない。だが、香川氏曰く「『できるつもり』の自称・黒字社員は、『できない』赤字社員よりも

会社にとってははるかに問題だ」と断言する。というのは「『できるつもり』の社員はありがた迷惑なことに、間違った仕事を会社内にもない素直な後輩に広めてしまふからだ」と。そしてその結果、いつの間にか社内には「できるつもり」の赤字社員が増殖し、大きな損失を抱いてしまつたというのだ。

では、「できるつもり」の社員を「できる社員」に変えるにはどうすればいいのか。本書はそれには「絶対黒字感覚」を身につけなければならぬと指摘する。この「絶対黒字感覚」とは、会社に生じているコストをモレなく把握した上で、そのコストを上回る収益を生み出すとする感覚のこと。そして、これを身につけるためには「数字」を活用したPDCAサイクルを実践することが必要だと説く。そこで、本書の後半は「できる社員」の実践術を具体的に紹介。随所に会話形式で「できる社員」の仕事ぶりが描かれているので、実際にどのような仕事を目標せよいいのかが想像できるようにになっている。

さっそく、読者諸君も自分自身の「できるつもり」度をチェックしてみよう。うたうたうた。もし自分が「できるつもり社員」だとわかったら、すぐさま本書を読んで自己改善に努めてみるという

### 経営 「できるつもり」が会社を潰す 「絶対黒字感覚」のある人、ない人

## 返済不要の助成金をカンタンにゲット

知っているようで意外と知らない助成金。興味はあるけれど、なかなか調べる余裕がないといった人が多いのではないかと。そんな人には本書がおススメだ。

たとえば、本書では売上減少、リストラに悩んでいるなら「雇用調整助成金」、新規分野に進出するなら「キャリア形成促進助成金」、起業を望むなら「受給資格者創業支援助成金」といった具合に、助成金のタイプを分類した上で、さらに細かいQ&Aや助成金獲得までのフローチャート掲載。おかげで、一目でい



著者：浅野海夫  
発行：祥伝社  
定価：1200円+税

### 助成金 誰も知らなかった「助成金」 社会保険労務士が教える

ま自分が必要としている助成金と、その獲得方法がわかるようになってくるのだ。

また、東日本大震災における特例についても解説している。被災地で頭を抱えている事業者にもぜひとも参考にしてほしい一冊だ。

## ヤオコーに伝わる「商人道」を学ぶ



著者：川野幸夫  
発行：産経新聞出版  
定価：1300円+税

### 経営 日本一強いスーパー ヤオコーを創るために母がくれた50の言葉

22年連続増収増益という驚異的な実績を誇るヤオコー。その成功の秘訣は現会長川野幸夫氏の母であり、ヤオコーの実質的な創業者でもある川野トモさんの言葉にあるという。

そこで本書では、トモさんの言葉を「不況に負けない経営力をつけるため」の言葉「お客さまに好かれ信頼されるための言葉」「部下を育てていくために必要な言葉」といったカテゴリーに分けて紹介。「売り手の便利」は「買い手の不便」「返事はべつにならう」といった言葉からはヤオコーの経営哲学がヒシヒシと伝わってくる。トモさんならではの愛情に溢れた言葉の数々、本当に母親からアドバイスをもらっているかのような気になるのがおもしろい。「日本一元気な小売企業」と称されるヤオコーの「商人道」をぜひとも感じ取ってほしい。

## コロンブスブックレビュー 編集部オススメの5冊

## 次世代のユニバーサルデザインを考える

題名のUDとはユニバーサルデザインのこと。本書は3・11を経て、あらためてユニバーサルデザインの価値を認識し、推進しようというものだ。著者はユニバーサルデザインの現状を企業や観光施設などを通して説明、その上で日本のユニバーサルデザインはまだ未成熟だと指摘する。なかでも、病院や役所、道路、駅といった公的施設・インフラでの導入が遅れていることを強調している。

とはいえ、すべての地域がユニバーサルデザインに無関心なわけではない。後半では静岡県や熊本県、島根県海士町などの先進事例を取り上げ、いかんしてユニバーサ



著者：安藤千賀  
発行：リベルタ出版  
定価：1600円+税

### 地域 UD社会—3・11が問いかけるもの— ルデザインと地域活性化をリンクさせるべきかを論じている。

ゼロからの地域づくりが必要となる被災地では、とくにユニバーサルデザインという思想が重要性を帯びてくる。本書を読めば、あらためてユニバーサルデザインと地域活性化のかわり方を理解してもらえるはずだ。

## これからの日本に求められる金融とは



著者：津田倫明・ミンディ・ヤマト  
発行：毎日コミュニケーションズ  
定価：830円+税

### 金融 日本のマイクロファイナンス 一人々の暮らしを支えてきた庶民金融の過去と未来

バンクグラデュのグラミン銀行などのマイクロファイナンスを取り上げた一冊。マイクロファイナンスとは低所得者や連帯保証人を結び、担保の代わりに生活習慣や職能を学んでもらい、返済能力を身に付けさせる金融商品。グラミン銀行ではマイクロファイナンスを活用して

多くの縫製工場の立ち上げなどに成功しているという。また、最近ではインドやアメリカのNPOバンクなどもマイクロファイナンス商品が取り扱われるようになってきている。

日本では現在、銀行が便宜化し、ノンバンクが破綻するなか「準銀行」融資専門の金融機関の登場が話題になっている。投資家と融資を受ける者との間に新しい関係性をもたらすマイクロファイナンスは、次世代の金融システムになるだろう。それだけに、まずは本書でその仕組みを先取りしておくことをオススメしたい。